

アジアで2回目の世界選手権がカザフスタンで開催された。日本代表選手が世界を相手に競い合った。

2013年3月3-11日 カザフスタン国
スキーオリエンテーリング世界選手権
3月5日 スプリント競技
3月6日 ミドルディスタンス競技
3月7日 ミックススプリントリレー
3月9日 リレー競技
3月10日 ロング競技



成田空港で行われた結団式

もう一度カザフスタンへ

世界選手権が行われるカザフスタンは2年前に冬季アジア大会が開催された国。このとき、スキージャンプ、アイスホッケー、クロスカントリスキー、バイアスロン、フリースキーなどと並んで、スキーオリエンテーリングが正式種目に採用され、国家を挙げた国威発揚の盛大なイベントだった。

今回はスキーオリエンテーリングのみの世界選手権の開催。開催地も冬季アジア大会とはかなり離れた場所で開催されている。開催直前の現地はたっぷり雪が降って、バスも立ち往生するくらいだった。

スプリント競技

男子

1	Peter Arnesson	SWE	0:15:51.5
35	堀江守弘	日本	0:20:52.1
42	黒田幹朗	日本	0:24:27.0
44	渡辺 幸	日本	0:25:35.8
46	平野弘幸	日本	0:27:00.1

女子

1	Tove Alexandersson	SWE	0:15:08.0
34	島貫なつみ	日本	0:28:40.3



スプリント競技フィニッシュ直後の渡辺幸

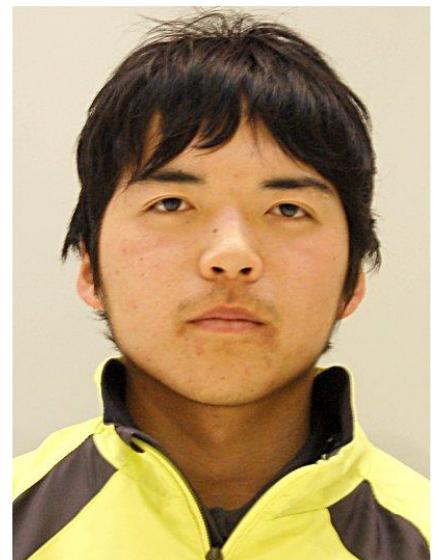
黒田の感想

序盤に1分程度のミスをした以外は特に大きなミスは無く、うまくこなせた感触でしたが、上位とはだいぶ差がついてしまいました。全体的にコースが難しく、慎重にルートを選んでいったせいで、巡航速度が上げられなかったのが原因だと思います。

スキーの技術は日本にいても鍛えられると思いますが、ナビゲーションスキルも一緒に向上させて行くためには、海外のレース経験を積む必要があると感じました。

平野の感想

初めての世界選手権ですが楽しんで滑っております。モービル道のネットが今まで経験したものとは比較にならないくらい細かったので読図にかなり時間を取られました。止まってしまうことも多く、全体的に遅かったです。大きなミスはなかったのは良かったと思います。



渡辺 幸(わたなべゆき) (19歳)
(山形大学) 山形県出身 (2回目)



島貫なつみ (しまぬき) (19歳)
(旭川大学) 山形県出身 (2回目)

ミドル競技

男子

1	Peter Arnesson	SWE	0:56:51
35	堀江守弘	日本	1:18:36
41	平野弘幸	日本	1:35:44
42	黒田幹朗	日本	1:37:47

女子

1	Anastasia Kravchenko	RUS	0:53:37
33	島貫なつみ	日本	1:47:27

堀江の感想

ミドルのレースは嵐の中で行われました。ウォーミングアップを始めようとしたスタート1時間前から風が強くなり、瞬間に激しい風雨となりました。スタート時はわずかに雨が弱まったものの、レース中も時折激しい風雨に見舞われました。

テレインでは、木が何本も倒れ私たちのルートを妨げました。私は四回以上、倒れたばかりの木を乗り越えました。アメリカの選手は、レース中に木が根元から折れる音を聞き、ドイツの選手は危うく倒れてきた木の下敷きになるところだったそうです。

結果は昨日のスプリントと同じ35位でした。1時間18分のレースでしたが、数秒差で二人の選手が前にいるので、力は拮抗しています。

平野の感想

スタート直後、ルートが頭に入ってこなくてミスルートを通ったり、立ち止まる回数が多かったです。あっという間に幸に追いつかれましたが、その後は比較的うまく回れたと思います。でも間違った道に入ってちょっとして違和感に気づいて戻ることが少なからずありました。

スプリントとミドルから、走力がどうこう言う以前に滑りながら地図を読むことが一番できていないと感じました。

ミックススプリントリレー競技

1	スウェーデン	0:58:33
2	フィンランド	0:59:23
3	ブルガリア	1:00:00
4	スイス	1:00:10
5	ロシア	1:00:22
6	ノルウェー	1:00:23
7	カザフスタン	01:01:57
8	エストニア	1:03:06
9	チェコ	1:03:37
10	ウクライナ	1:18:15
11	日本	1:27:44
	(島貫なつみ+堀江守弘)×3	
	アメリカ	失格

堀江の感想

昨日からの雨は今日もずっと降り続け、雨の中のレースになりました。風がない点は、昨日よりよかったです。

今回のミックススプリントリレーは女子選手が先に滑りました。前回2011年の世界選手権とは逆です。

日本は他のチームから遅れたものの、

最後まで確実にチェックポイントを通り、12チーム中11位という結果でした。アメリカは第三レグでペナのためDSQでした。

雨でぬれた状態で次のスタートを待つ間、選手の体が冷えないようウェアを渡したり、スタート直前にマップホルダーをふいたり、チームのサポート体制は万全でした。テレインの中まで「堀江がんばれ」の声が聞こえ、励まされました。

島貫なつみの感想

スプリント、ミドル、ミックスリレーともに成績はついてきませんでした。個人戦は、前回のラトビアよりは大きなミスをする事なくレースが出来たと思います。



島貫なつみ・スプリントリレーを滑る。地図交換の早さも重要。



男子リレーを滑る平野弘幸。日本はアメリカ、ドイツをかわして 10 位。

も最高だったし。個人的には最後にミスしてカザフに抜かれたのが残念ですが、全体的にはいいテンションでレースができて良かったです。2 位争いはすごく盛り上がりましたよ。



黒田幹朗 (くろだみきろう) (35 歳)
(アークコミュニケーションズ所属)
茨城県出身 (3 回目)

堀江の感想

日本からの応援ありがとうございます！ 目標としていた、ドイツとアメリカには結果的に余裕を持って勝てました。

私はスタートでルートミスをしてしまいましたが、途中でカザフスタンにも追いつき、いい競り合いができました。カザフスタンは男女とも速い選手が一人いますが、選手層はそれほど厚くないようです。

2 位争いとなったスウェーデンとフィンランドの争い、ラスポではスタッフアン (フィンランド) がタッチの差で先行し、競技場のホームストレートでデットヒートを繰り返しました。

ゴールラインの真横にいた私ですら、どちらの足が前だったかわからないほどの僅差。写真判定によるジャッジが決まるまで 1 分以上かかりました。

結果はスプリント、ミドルを制しているスウェーデンのペーターの勝ちでした。寡黙であり目立たない選手ですが、彼は強いです。

それぞれのルートでトータル 30km 以上を滑りながらも、最後までかな差で順位が決まるのがスキーオリエンテeringの醍醐味ですね。

リレー競技

男子		タイム
1	ロシア	1:26:29
2	スウェーデン	1:26:54
3	フィンランド	1:26:55
4	ノルウェー	1:30:05
5	スイス	1:32:40
6	チェコ	1:35:30
7	ラトビア	1:35:53
8	エストニア	1:36:02
9	カザフスタン	1:43:28
10	日本	1:55:04
	堀江守弘	0:34:53
	黒田幹朗	0:39:32
	平野弘幸	0:40:38
11	アメリカ	1:57:49
12	ドイツ	2:01:43

黒田の感想

みなさん応援ありがとうございます。しっかりアメリカ、ドイツに勝ちきれて気分良いです！！今日は天気



平野弘幸 (ひらのひろゆき) (22 歳)
(東北大学) 長野県出身 (初回)

ロング競技

男子 36 Controls 20000m

1	Peter Arnesson	SWE	1:29:11
36	堀江守弘	日本	2:08:49
39	平野弘幸	日本	2:10:13
40	渡辺 幸	日本	2:13:51
	黒田幹朗	日本	失格

女子 29 Controls 15600m

1	Mervi Pesu	FIN	1:28:19
32	島貫なつみ	日本	2:44:50



堀江守弘 (ほりえもりひろ) (32歳)
(アークコミュニケーションズ所属)
山形県出身 (6回目)

堀江の感想

ネットでの観戦、応援ありがとうございました。私は残念ながら一枚目の地図後半で、長時間現在地をロストしてしまい、大きく遅れてしまいました。今、冷静に地図を読み返せばリロケートできるポイントはあったのですが、レース中は完全に別世界でした。これも実力です。精進します。

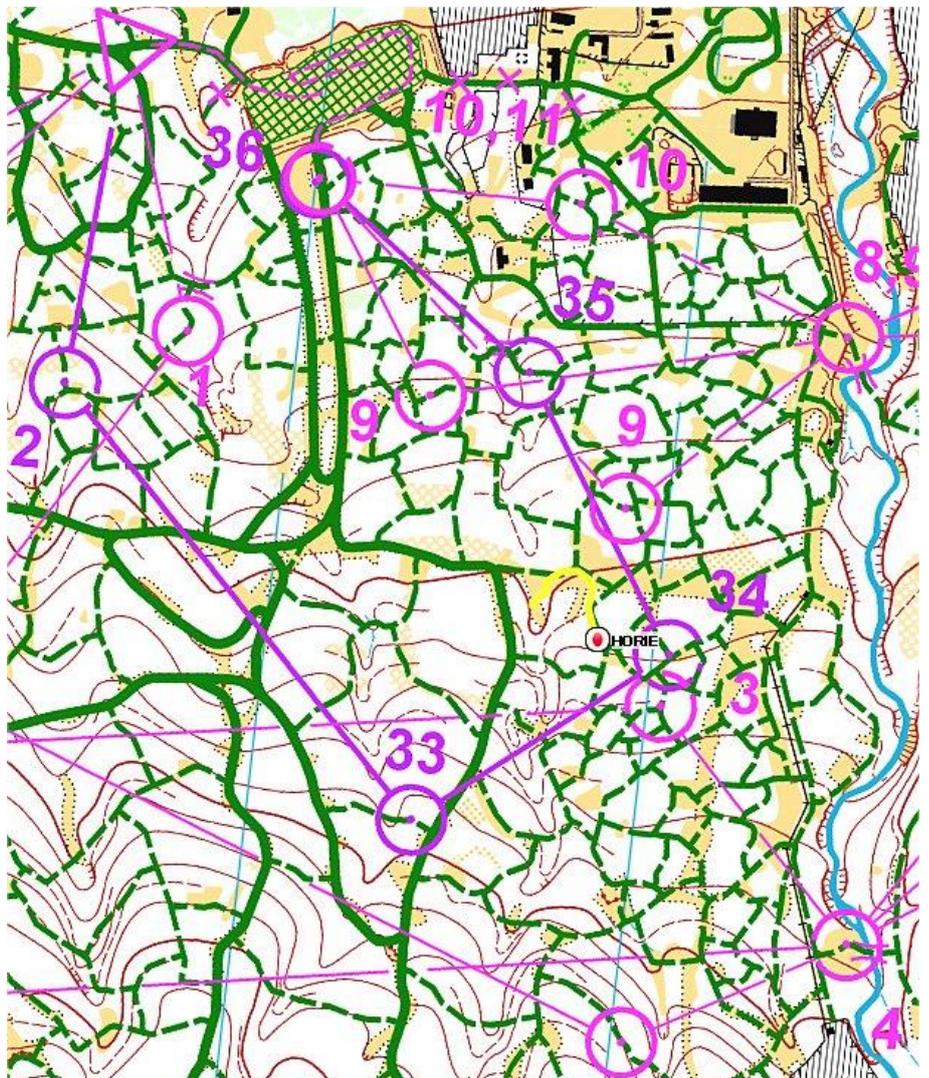
黒田の感想

今回の世界選手権を振り返ってみると、リレーはなかなかいい感じで滑れましたが、それ以外の種目、特にミドルとロングはボロボロで不本意な結果となりました。

スキーの技術は着実に向上しているのは実感できましたが、やはり難易度の高いコース設定に対応できなかったのが敗因です。

日本人選手にとっては今回のようなコースの経験を積むことはなかなか難しいですが、なんとか工夫してナビゲーションの練習をしていきたいと思えます。

(記事まとめ：木村佳司)



インターネットで中継された GPS トラッキングの画像。堀江が地図のどこを滑っているのかが一目で判る。会場のスクリーンでは地図が消された画面で、選手が競り合う様子のみが映し出された。スキーオリエンテーリングのロング種目はワンマンリレー形式で行われる。地図上には複数のコースが一度に掲載されている。男子は20km。女子15.6km。



日本選手、がんばりました。

スキーオリエンテーリング

スキーオリエンテーリングは、1975年に第1回世界選手権大会が開催され、2009年の世界選手権大会はアジア地区として初めて北海道のルスツで開催された。

2011年1月にカザフスタンで開催されたアジア冬季大会では初めて正式種目となり、アジア地区からだけでも6カ国が参加した。国際軍人大会でも正式種目入りを果たし、2017年には冬季ユニバーシアードで実施される予定。

次々と世界的な総合スポーツ大会での正式種目化を果たしており、残るは冬季オリンピックでの種目採用である。

スキーオリエンテーリングを体験してみない？

スキーオリエンテーリング安比高原大会
開催日時 2013年4月7日(日)
開催場所 岩手県八幡平市 安比高原
主催：(公社)日本職業スキー教師協会(SIA)
共催：(公社)日本オリエンテーリング協会